

風景画家コンスタブルの大回顧展

19世紀イギリスの画家ジョン・コンスタブルは、一歳年長のJ. M. W. ターナーとともに自国の風景画を刷新し、その評価を引き上げたことで知られます。ターナーが絶えず各地を旅して、国内外の景観を膨大な数の素描に取めたのとは対照的に、コンスタブルは、ひたすら自身の生活や家庭環境と密接に結びつく場所を描きました。故郷サフォーク州の田園風景をはじめとして、家族や友人と過ごしたソールズベリー、ハムステッド、ブライトンなどの光景を写した**生氣あふれる作品の数々**は、この画家が何を慈しみ、大切に育んだのかを雄弁に物語ってやみません。

日本では**35年ぶり**となる本回顧展では、世界有数の良質なコンスタブルの作品群を収蔵する**テート美術館**から、ロイヤル・アカデミー展で発表された大型の風景画や再評価の進む肖像画などの油彩画、水彩画、素描**およそ40点**にわたって、同時代の画家の作品20点あまりをご紹介します。国内で所蔵される秀作を含む全85点を通じて、ひたむきな探求の末にコンスタブルが豊かに実らせた**瑞々しい風景画**の世界を展覧します。



ジョン・コンスタブル《自画像》
1806年、グラフィット/紙、
19.0×14.5cm テート美術館蔵 ©Tate

John Constable 1776-1837



ジョン・コンスタブル
《雲の習作》
1822年、油彩/厚紙に貼った紙、47.6×57.5cm、テート美術館蔵 ©Tate



ジョン・コンスタブル
《虹が立つハムステッド・ヒース》
1836年、油彩/カンヴァス、50.8×76.2cm、テート美術館蔵 ©Tate



ジョン・コンスタブル
《マライア・ビッケネル、ジョン・コンスタブル夫人》
1816年、油彩/カンヴァス、30.5×25.1cm、テート美術館蔵 ©Tate

ライヴァル 好敵手ターナーとの対決

1832年ロイヤル・アカデミーでの
展示を再現



J.M.W.ターナー《ヘレヴーツリユイスから出航するユトレヒトシティ64号》
1832年、油彩/カンヴァス、91.4×122.0cm、東京富士美術館蔵 ©東京富士美術館イメージアーク/DPPartcom

V.S.



ジョン・コンスタブル《ウォータールー橋の開通式(ホワイトホールの階段、1817年6月18日)》
1832年発表、油彩/カンヴァス、130.8×218.0cm、テート美術館蔵 ©Tate

テート美術館所蔵 コンスタブル展

会期	2021年2月20日(土)～5月30日(日)		
休館日	月曜休館 (但し、祝日・振替休日の場合、会期最終週と、トークフリーデーの2/22、3/29、4/26は開館)		
開館時間	10時～18時	(祝日を除く金曜と会期最終週平日、第2水曜日は21時まで) ※入館は閉館の30分前まで	
入館料	一般：1,900円	高校・大学生：1,000円	小・中学生：無料

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各時間の入場人数に上限を設けています。ご来館の際は展覧会サイトをご確認下さい。

お得なチケット! マジックアワーチケット(毎月第2水曜日17時以降に限り適用)：1,200円

※マジックアワーチケットは、実施月の1日に「Webket」内にて販売開始となります。

※価格はすべて税込 ※障がい者手帳をお持ちの方は半額、付添の方1名まで無料 ※本展覧会での前売り券の販売はございません

※諸事情により、開催時間や会期等について変更する場合がございます

ACCESS



- JR「東京」駅(丸の内南口)徒歩5分 ● JR「有楽町」駅(国際フォーラム口)徒歩6分
- 都営三田線「日比谷」駅(B7出口)徒歩3分 ● 東京メトロ千代田線「二重橋前」駅(1番出口)徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線「有楽町」駅(D3/D5出口)徒歩6分 ● 東京メトロ丸の内線「東京」駅(地下通直結)徒歩6分

三菱一号館美術館

MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-6-2

お問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

UK IN JAPAN

GREAT PARTNERSHIP